

災害廃棄物の受け入れは3月末までに終了へ

◎環境課 ☎341122

東日本大震災で発生した災害廃棄物（木くず）の広域処理について、岩手県山田町と大槌町の受け入れ要請量は、当初2万3500tで、平成26年3月末の完了予定でした。しかし、静岡県内5市での広域処理が進むにつれて、総量が想定よりも大幅に少ない3500tになることが判明したため、今年度内に受け入れが終了することが決まりました。県内での災害廃棄物の処理量は、表のとおりです。

なお、市で受け入れている山田町の災害廃棄物の、空間線量率や放射能濃度などの測定結果は、いずれの数値も問題ありませんでした。測定結果はインターネットで公開しています。

◎http://www.city.shimada.shizuoka.jp/kankyousisetu/gareki_top.jsp

	1月まで(実績)	2月以降(計画)	計
静岡市	978	116	1,094
浜松市	899	571	1,470
島田市	378	362	740
富士市	16	94	110
裾野市	62	24	86
計	2,333	1,167	3,500

①田代環境プラザ敷地境界・周辺施設空間線量率(単位:μSv/h)		
5/21(本格稼働前)	1/30, 2/6・13・20・27	
0.06~0.08	0.07~0.09	
②田代環境プラザ処理灰の放射能濃度(本格稼働)		
単位: Bq/kg	5/24	2/7
セシウム134	42	不検出
セシウム137	49	29
③一般廃棄物最終処分場敷地境界4カ所の空間線量率(単位:μSv/h)		
5/21(本格稼働前)	1/30, 2/6・13・20・27	
0.07	0.07~0.08	
④一般廃棄物最終処分場水(雨水・放流水・地下水)の放射能濃度		
5/21(本格稼働前)	1/30, 2/6・13・20・27	
不検出	不検出	

消防団活動にご理解・ご協力を、協力事業所の認定

◎防災課 ☎367212

現在、市内の消防団員数は、条例定数に満たない状況です。このため、団員確保や活動環境の整備に加え、協力事業所の社会的な評価を高める「消防団協力事業所表示制度」を設けました。消防団活動にご理解・ご協力いただき、同制度の認定申請をご検討ください。

◎【協力事業所】2月28日現在・認定順

(株)大井電機製作所(家山)、サカイ産業(株)(細島)、(株)寺田製作所(牛尾)、(株)小澤産業(阪本)、(株)小林板金工業(東町)、渡辺基礎(大代)、(有)ビクソン(船木)、セーフティガード(株)(野田)、浜建工業(株)(三ツ合町)、森下商事(株)(金谷栄町)、大河原建設(株)(向島町)、(有)明工電気(家山)、(株)丸紅(湯日)、マルキ建設(株)(家山)、(有)宮脇建設(横岡)、(株)グロージオ(御飯屋町)、(有)秋原自動車(伊太)

初倉の大柳地区に製薬会社が移転・操業

◎商工課 ☎367125

市では、市内への企業誘致を積極的に進めており、2月20日には、小林製薬グループの「アロエ製薬株式会社」の新社屋が大柳地区に完成し、竣工披露式典が行われました。

アロエ製薬は、伊豆産アロエを原料に、軟膏や育毛液などを主力製品として製造。これまでの本社工場が老朽化し手狭になったことから、静岡市駿河区から大柳地区に全面移転しました。

敷地面積は約5000㎡、鉄骨造り2階建てで、述べ床面積は約2900㎡。工場内にガラス張りの見学ルートも整備されています。今後、従業員の地元雇用も予定されています。



アロエ製薬

中央公園のミニ鉄道利用者が10万人を達成

◎観光課 ☎367163

中央公園のミニ鉄道が、3月3日、利用者10万人を達成し、記念イベントが行われました。10万人目となったのは、市内東町の市川直昭さん、妻の麻利江さん、長男の永真くん、長女の莉子ちゃんの一家。桜井市長と一緒に、くす玉を割って祝ったあと、ミニ新幹線に乗り込み、園内を1周しました。

直昭さんは「長男が、中央公園もミニ新幹線も大好きで、いつも一緒に来て、何度も乗っています。10万人目を選んでびっくりしましたが、これからも子どもたちと一緒にたくさん乗って、親子の絆を深めたい」と、笑顔で話してくれました。

平成23年4月に開通したミニ鉄道施設は、幅191mmと127mmの軌道を



10万人達成の記念運行

併設した線路で、1周312m。駅舎ホームや鉄橋、踏切などがあります。当初はミニSLの運行だけでしたが、利用者が多く好評であったことから、平成24年4月にはミニ新幹線N700系の運行を開始しました。運行日程については、毎月の広報はまだ「便利帳」に掲載していますので、ご覧ください。

浜岡原発での重大事故を想定した防災訓練を実施

◎防災課 ☎367320

2月15日、「南海トラフ巨大地震により中部電力浜岡原発(御前崎市)で重大事故が発生し、原発から半径20km圏に避難指示が発令された」という想定で、島田市をはじめ原発の近隣11市町から住民約400人が参加して、原子力防災訓練が行われました。

市内からも、切山地区の住民35人が参加。体に放射性物質が付着していないかを調べる「スクリーニング」の場所として、今回の訓練で指定された藤枝総合運動公園へ、実際にバスで避難し体験したり、除染についての詳しい



「スクリーニング」の様子

チューバ奏者の池田氏に市芸術文化奨励賞を授与

◎文化課 ☎462344

NHK交響楽団所属のチューバ奏者池田幸広さん(埼玉県川口市在住)が、島田市芸術文化奨励賞を受賞し、12月19日、市役所で授与式が行われました。

池田さんは、市内元島田出身で、島田第二中学校と藤枝明誠高校の吹奏楽部を経て、国立音楽大学を卒業。大阪市音楽団に6年間在籍し、平成17年からNHK交響楽団のチューバ奏者として、全国で演奏活動をしています。また、平成10年には「第15回日本管打楽器コンクール・チューバ部門第1位」を獲得するなど、数多くの受賞歴があります。



池田幸広さん

池田さんは「今の自分があるのは島田市のおかげ。二中の吹奏学部は、強くて有名。これからは、島田の子どもたちに音楽で貢献できたらと思います」と喜びを語ってくれました。

空港を活用したまちづくり研修会を開催

◎空港振興課 ☎367127

金谷(切山・猪土居・富士見町地区)空港対策委員会と市では、「静岡空港を活用したまちづくり研修会」を2月12日、お茶の郷博物館で開催し、地元住民や市内の商工・観光関係者、市職員など約70人が参加しました。

はじめに、興津幸夫・県空港地域連携課長が「空港ティイガーデンシティ構想」の進行状況や、基幹的広域防災拠点(構想)の概要、原子力災害時に拠点となる「オフサイトセンター」移動計画などについて説明しました。続いて、中村羊一郎・静岡産業大学



空港を活用したまちづくり研修会

富士山静岡空港に「石雲院展望デッキ」が完成

◎空港振興課 ☎367127

静岡空港ターミナルビル東側に「石雲院展望デッキ」が完成し、2月16日に開催された完成式典には、県知事をはじめ桜井市長など地元首長や多くの地元住民が参加しました。

展望デッキは、高さ約10m、直径33mの円形で、飛行機の離着陸を間近に見ながら、富士山や駿河湾などが一望できます。空港駐車場から展望デッキまでは、なだらかなスロープが設置され、アクセスも容易です。

デッキの表面はヒノキ材。看板やベンチ、テーブルなどにも、空港敷地内



石雲院展望デッキの完成式典

情報学部特任教授が「庶民のお茶」と題して講演しました。中村教授からは、「茶畑の景観は最大限に利用する価値がある。また、お茶の郷博物館や諏訪原城跡、蓬萊橋など、既存の資源を徹底活用したミニ観光コースを設定し、ツアー会社への強力な売り込みが不可欠である」と語り、地域活性化について提言しました。